

# No. 1272

## 琵琶湖風物詩

滋賀県のまん中にある日本最大のみずうみ琵琶湖。初夏の風が湖面をわたり、一年中で一番良い季節を迎えた。長浜の町を中心に古い歴史を持つ琵琶湖北部。湖畔はいかにもいなか町らしいのどかなたたずまいを見せている。琵琶湖は多種の魚や貝を産し、種々な漁法を産んだ。人々は今もその漁法を受け継いでいる。「タッペ」と呼ばれる漁法。円方形の簀のようなものの中へエサを入れて湖底に沈める、そして一昼夜してから引き上げる。これは小エビを取るのに使われる漁法である。漁の後またひとつひとつ仕掛けておく。

定置網漁法。これは岸辺近くの浅瀬に網をめぐらし、左右にそれぞれ袋小路をつくる。そこに入った魚は外に出られない様にしてある。この定置網漁法の漁獲高は琵琶湖の水あげ高の4分の1を占めている。稚アユが一番多く全国に放流アユとして出荷されている。鳥の羽根をつけた竹ざおで湖面をたたき、魚を追い込んで取るというこの地方独特の漁法。これは「オイサデ」と呼ばれる漁法で原始的ではあるが人々は今も好んで使う。この漁が終ると琵琶湖は本格的な夏を迎える。

## サクラシヨウリに栄冠

第45回日本ダービー

東西の優駿20頭が参加した「第45回日本ダービー」距離2400メートルは、5月28日良馬場の東京競馬場で行なわれました。

(実況放送)

好位から抜けだしたサクラシヨウリが必死に追い込むアグネスホープに1/2身差をつけ、2分27秒8の好タイムで優勝。小島太騎手は初優勝。ダービーの売り上げは150億を突破しました。